

地区老人クラブ紹介

三谷老人クラブ(高砂会)

会長 小田 善一

一度見ぬものは馬鹿、又二度見るも何々とかいって東海名物の一つ三谷祭の海中渡御は金色さんぜんと輝く山車を海中に引き入れる様は、美観と云わんか壮観と例えんか、日頃の三谷っ子の気性をうかがい知る事が出来る。お金も暇も、特にパワーのある三谷高砂会の現況をお知らせします。

先ず高齢者教室を公民館のご指導ご協力により十回開催します。伊藤先生の講師で日本の歌の教室、安心安全課の松野さん(交通安全)の講話。渥美先生の(三谷の自然)。栢植医師の落語。桜間師の(今をどう生きるか)。畔柳師の(生きがいのある人生)等法話。天野保健士の(成人病予防)。文化財めぐり等の研修。いつでも140名前後の会員が参加され盛大に挙行されます。恒例の「園児とのふれあい活動」もあります。核家族が多くなる中で祖父母とのふれあいが少なくなり、預り保育で働くお母さんが増え、子育ての不安、少子化の現象も続いています。会員の皆さんはそうした時代をふまえた中で、昔からの伝承遊びを手作りで準備し、園児とのふれあいを大切にして毎年活動を続けております。みどり保育園、三谷東保育園、三谷西保育園、あさひこ保育園と三谷中学校で実施しており、種類は竹トンボ、こままわし、ゲート通し、石けり、紙ヒコーキ(折紙)、あやとり、おてだま、わら(布)ぞうり、たがまわし、竹馬(中学生のみ)。これからもふれあいは地域の子供達を見守っていくために大切な活動の一つです。そのほかに三河大嶋の掃除、9月に行われる社会奉仕の日、高砂会の親睦一泊旅行、又三谷温泉の忘年親睦会、市老連主催のグラウンドゴルフ大会、高齢者レクリエーション大会、寿楽荘、豊川ふれあい団体利用等沢山の行事をこなしております。これも会員の皆さんは勿論関係各位のご協力の賜と深く感謝しております。



こままわしの様子▲



▲みどり保育園にて 開会の挨拶

形原長寿会

副会長 壁谷 秀雄

形原地区では、会員の皆さんの深いご理解とご協力により、会員数七八四名を数えるに至りました。

活動の種類も多岐に亘っており、公民館との連携により、高齢者教室を開催。また、地区内を更に四つに分けて、各地区毎に、毎月一回ずつ健康教室を開催しております。健康教室では、お花見、グラウンド・ゴルフ、室内ゲーム、保健センターの講師による健康講話、忘年会や新年会と多彩な行事を企画し、多くの参加を頂いております。中でも、9月10月は健康リーダーの指導の元、踊りの練習に励み、町民体育祭に参加して、「華」?を添えています。



▲町民体育祭 形原長寿会

その他に、ゲートボール・グラウンドゴルフ・カラオケ・民踊と各部活動も幅広く、皆、歳を忘れて楽しく活動に参加し、充実した日々を過ごすよう努力しています。

また、女性部の存在も忘れてはいけません。形原長寿会女性部は、現在30名余りの会員が、毎月1回、眺海園に清掃奉仕に通っています。特に外部のガラス拭きを中心に清掃のお手伝いをして喜ばれております。簡単な作業では有りますが、一年を通して通うとなると、暑い日も有れば寒い日も有り、なかなか大変な事です。このボランティア活動を始めてすでに十数年が経ちますが、これからも継続して、次の人達に続けていただけたら良いと思っております。

高齢だからと回りの好意にあまえてばかりで無く、自分に出来る事は自分でやりたいと、いつも前向きな気持ちを忘れずに生きたいものです。

形原長寿会としては、今後も会員の皆さんに余生を楽しく健やかに過ごしていただく為に、スポーツに、笑いと、有意義で喜んでいただける多彩な企画を立てていきたいと思っております。